

積極的なサポートで支えてください

●岩崎正様の告別式を終えて！

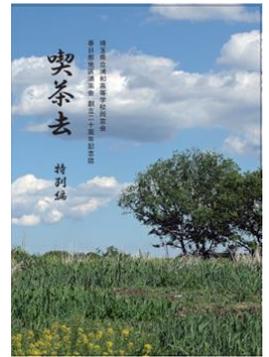
きょう午前8時45分から春日部市内の葬祭場で岩崎正様（高11回）の告別式があり、私も列席させていただきました。岩崎様は春日部地区浦高会の創立メンバーのお一人で、銀行員のキャリアを生きさせていただき永年にわたり監事とともに、ゴルフ部会長をお務めいただきました。そんな岩崎様から、春日部地区浦高会創立20周年誌『喫茶去 ～特別編』にゴルフへの熱い思いを寄せていただいた文がございます。哀悼の思いを込めてご披露させていただきます。

◇ ◇

■「ゴルフ随想」 高11回 岩崎 正



前回の東京オリンピック大会が開催された1964年4月私は埼玉銀行（現埼玉りそな銀行）に入行し、草加支店に配属された。当時草加支店は行員100人以上の大規模支店で同期生は男子3名、女子10名の計13名が入店した。入行半年間は研修で無所属、オリンピック開催の10月中も店頭のテレビを見に来るお客様の整理係、真にのんびりした生活でした。しかし、オリンピックが終了すると融資課に配属され、それからは毎日残業、当時は週休二日制ではなく土曜日も出勤し、毎月60時間以上の残業があり、20日の給料日に研修中の給与の倍額以上が現金で支給され大変驚いたことを思い出します。このような状況でも日曜日は行内野球大会・レクリエーション行事等に駆り出され大いに青春時代を楽しみました。



そして、2年目になり仕事にも慣れて来た時、融資課長から「来週日曜日に紫カントリーあやめコースに行くから今日の残業は止めて練習しておくように」との指示があり、男子課員全員で練習場に出かけました。

そして日曜日、課長から借りた中古のゴルフクラブをもって紫カントリーに出かけた。10月の好天気、着替えを済ませて練習に行こうとすると、先輩から「靴も履き替えてこい」と。「靴はこれしかありません」と答えると「ゴルフ場はゴルフ専用の靴底にピンが無いとダメだ」と言われ、止めようかと思って戻りかけた時、キャディのおばさんが「その革靴でやったら」と助け船を出してくれ、そのまま革靴でスタートした。途中経過は覚えていないくらい目の茶苦茶、滑る・転ぶの疲労困憊で家に帰ってきた事だけは覚えている。これが私のほろ苦いゴルフデビュー戦でした。そして1年後の1965年10月10日（体育の日）、米国駐留軍が太田市の旧中島飛行機工場（現スバル太田工場）に作った今は廃止された太田パブリックゴルフ場でホールインワンを達成した。前の組でこれ見ていたのが埼玉銀行東京支店の仲間から大歓声が起こり、グリーンに上がると、皆からボコボコ頭を叩かれ痛い祝福を受けたことを思い出します。それから数10年ホールインワン保険にも入り今再びを希求するも、未だ未達。ゴルフの神様に祈願する日々です。

生涯のベストスコアは、1985年8月の松島国際カントリークラブでの37、39の76で、悔しい思いがあるプレーは、1983年5月の東京・三田支店長時代、豪華賞品で評判の都市銀行金融団コンペが名門川奈カントリー倶楽部であり、前半39、後半も41でグロス80、ベスグロは確実に表彰式へ臨んだ。ベスグロ賞は獲るものの順位はブビー、豪華賞品を逸しました。

そして、春日部地区浦高会が2001年9月に設立され、石井治・初代会長さんから監事を仰せつかり現在まで務めさせて頂いています。その後、ゴルフ好きの会員人達からゴルフコンペを開催してはとの提案があり、私がゴルフ部会長に指名され、当時野田市の市長であった根本崇・現会長さんの紹介で2003年4月20日に第1回春日部地区浦高会ゴルフコンペが野田市営パブリックゴルフ場けやきコースで開催され、11名が参加した。以降、2代目部会長の三村輝明さん、3代目の現部会長に鈴木剛さんと続き毎年春と秋2回のコンペが行われています。昨年10月9日坂東ゴルフで開催された第39回コンペではパートナーは池田則夫さん、今成英明さん、三村輝明さん、前半は思いもかけない37、後半41で回れば78のエージシュート達成かと、昼の食事中皆さんに励まされ、「ヨシ、ヤッテヤルカ！」と意気込んだのですが、12番ホールにてOB、これにて夢破れ後半45、グロス83、エージシュートはあとのお楽しみとなりました。

ここ数年週1回ベースの年52回プレーを目標にして励み、毎年目標を完遂している。これからも健康に留意し仲間を大切にしてゴルフを続けていきたいと思っています。

これからもお付き合いの程宜しくお願い致します。

【『喫茶去 ～特別編』2020年9月発行、写真は平成23年のゴルフコンペにて、左から2人目が岩崎様】

◇ ◇ さまざまなイベントに積極的にご参加いただいた岩崎様、ありがとうございました。合掌！